

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2020・5月号

石川県学校生活協創立71年目（組合員とともに これまでも これからも）

2020 愛！ 夏の全員利用運動企画始まる！ ご協力を！

石川県学校生活協同組合の7つの理念は、「信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献」です。2020年度の活動中心は「社会貢献」です。その第一弾として、『愛！夏の全員利用運動』を始めます。「なぜ、愛なのか？」今までも、この全員利用運動の収益金の一部を「社会貢献」として被災地や県内の施設、石川ユニセフ協会などに寄付してきました。昨年度は、東日本災害の岩手県に10万円を寄付しました。そして、この「社会貢献」をもっと深化させるために「愛」を付けることにしました。組合員の皆さんには、これまでと同様、若しくはそれ以上に商品の購入をお願いします。その時の意識として、一品は自分のために、もう一品は愛する方のためにプレゼントという思いを持って御購入をお願いします。そのことが、被災地の皆さんを支援する愛につながります。これが「愛」の正体です。また、夏の利用運動には間に合いませんでしたが、次回からは、自分たちが被災を受けた時に備える備蓄商品や今も被災を受けたままになっている地域の商品を取りそろえる計画をしています。



## 3月末経常剰余金決算 1,294万円の赤字。計画よりは1,319万円の悪化！

石川県学校生活協の2019年度決算は、1,294万円の赤字でした。その状況を詳しく見てみますと、目標剰余を上回った事業は、住宅リフォーム170%のみでした。しかし前年剰余をクリアした事業は、カタログ100%、営業101%、車検100%、代行の119%の4事業があります。厳かった事業は組織91%、フレッシュ96%です。私たち職員が担っている自主供給部門では前年比95%、指定店部門は105%、総合計では96.5%の結果となりました。

厳しい状況でした。今年度こそ一歩でも黒字化につながるように職員一同頑張りますので、これからもよろしくをお願いします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

## 「パガニーニのヴァイオリン協奏曲」北本 豊春

ヴァイオリンニストに、ヴァイオリン演奏の難曲は何かと尋ねると、恐らくパガニーニ作曲の楽曲が指摘されるでしょう。当時超絶的な技巧を有するヴァイオリニストとして高名だったイタリアのニコロ・パガニーニは、卓越した技能を要する、ヴァイオリンの超難曲を創作しました。イタリアに留学していた新古典派の名画家フランソワ・ドミニク・アングルは、ヴァイオリンの名手でもあり、パガニーニと弦楽四重奏団を編成していたことでも知られています。パガニーニのヴァイオリン協奏曲では、フランスのヴァイオリニスト、ジノ・フランチェスカッティの演奏がひと際秀でています。細やかなビブラートと繊細な抑揚は、フランチェスカッティの特徴です。この難曲を、「弾きこなす」と言うレベルを遥かに超えて「優雅に表現する」と言う芸術的な領域で演奏しています。モノラル録音ではありませんが試聴をお勧めしました。フランチェスカッティは、この難曲を得意としていました。ステレオ録音では、パガニーニ演奏のスペシヤリスト、イタリアのサルヴァドレ・アッカルドの演奏をお勧めします。アッカルドは、抑揚豊かに、この曲を弾きこなしていきます。現在アメリカで学生を指導している五嶋みどりは、様々な名曲に優れた技能を發揮しています。五嶋みどりは、少女時代から天才ヴァイオリニストとして、名を馳せていました。僅か一五才の時に録音したこの超難曲の演奏は、類稀な名演奏として、讃えられています。

## 編集後記

外出自粛なら野菜づくりを！  
新型コロナウイルスが猛威をふるっています。ウイルスは目には見えないので、不安に思うと増々不安になるのですが、ここは専門家の意見を良く聞いてデマに惑わされないように、行動しなければなりません。そして、ここ石川県内にも緊急事態宣言が出され、不要不急の外出自粛を要請されています。

そこで、私は「野菜づくり」を提案します。空き地のある人は、そこを使って、ない人はプランターを使って、プランターも置く場所のない人は培養土の袋をそのまま使えます。そして、今がちょうど良い時期なのです。4月下旬から色々な野菜苗が出てきます。外出自粛にも三密にも合致します。そして何より大きな実りが訪れます。(道祐)